

目指す学校像

高き志【こころざし】

地域とともにある

勢いのある学校

No. 17 (R3. 9. 14発行) 文責 校長 福田雅也

「全学調」の結果から

標題にある「全学調」とは、私たち教師の間では「全国学力・学習状況調査」の略称となっています。今回は、あまり興味が湧くようなお話ではないかも知れませんが大切なお知らせです。

本年度4月に実施しました、その全国学力・学習状況調査結果が届きましたので、その分析を行い対策について検討しました。ご存知と思いますが、この調査は小学校では6年生が対象となっており、国語・算数を実施しました。国語・算数ともに、5年生までの内容で、基礎的・基本的な知識の定着状況を見る問題及び知識・技能を様々な場面に活用する力を見る問題になっています。また、学習や生活に関する質問「質問紙調査」も行いました。

学校としては、調査結果から本校児童の学習成果と課題を整理し、指導の改善に役立てていきたいと考えています。また、この調査につきまちは、学校として保護者への説明責任がありますので今回の学校便りとなりました。個人の調査結果が出ている6年生保護者の皆様へは、結果が記入されている個人票とともに、この学校便り以上に詳細な分析と対策についてのお知らせ文書をお渡ししてあります。

今年度の結果概要をお知らせしますと、正答率における本校平均は国語は全国平均をやや上回り、算数はやや全国平均を下回るレベルにあることがわかりました。

また、質問紙調査によると、以下の項目に良好な状況がうかがえました。**【全国平均を10ポイント以上、上回った項目の抜粋】**

○携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

○人が困っているときは、進んで助けていますか。

○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。

○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

○英語の勉強は好きですか。

○これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）。

この結果から、現在の6年生は、心が育ってきていること、メディア利用のきまりを守り家庭学習を頑張っていること、英語学習の成果が表れていること等がうかがえます。（もちろん課題も見つかりました）

これらの結果を受け、6年生のご家庭には、学力面を中心に以下の対策に取り組んでいくことをお伝えしました。

☆毎週金曜日に、「放課後学習タイム」を設定し、主に算数に関して中学校につながる学力をつけていきます。

☆特に1時間1時間の算数の授業について、「分かる」「できる」内容にすることで自信をもたせ、関心を高めていきます。

☆国語を中心に、「書く」活動を多く設定し、内容を工夫していくことで、「書く」ことに抵抗がないよう取り組んでいきます。

☆毎日の授業は言うまでもなく、委員会、行事などすべての教育的活動において、「学校のため」を意識した活動を行い、達成感を味わわせることで、お子さんの自信を高めていきます。

これらの対策は、6年生だけではなく、今後学校全体として取り組んでいく対策になります。全職員一丸となって、知・徳・体の3つの側面から、教育活動の充実に向けて取り組んでいきたいと思っております。保護者の方々のさらなるご支援・ご協力をお願いできればと思います。